

騒音制御材の音響特性を測定するための
完全な音響材料試験ハードウェアキット

透過損失および音響管キット 4206型



このキットは、マイクロホンと音源を備えた精密な音響試験管で構成されています。材料サンプルを管に入れます。管内のスピーカーは正確に定量化された音を放射し、マイクロホンは、管の長さ方向に沿った特定の位置での音圧レベルを測定します。PULSEソフトウェアは、さまざまな測定位置間で測定された周波数応答関数に基づいて、材料の垂直入射音響特性を計算します。

ISO 10534-2、ASTM E1050-12、ASTM E2611-17の各規格に適合した測定と計算を実行し、吸音率と表面インピーダンスの決定に役立ちます。

使用事例

- 音響材料特性の特性評価と競合製品のベンチマーキングによる騒音制御製品の研究開発
- 最適な音響処理と障壁を選択することにより、航空機のキャビンや車室内などの快適さを設計
- 材料が部品などの製品アセンブリに組み込まれる前の特定材料特性の試験および材料の規制遵守の検証
- 音響モデリングなどの計算方法の検証と校正

3種類の異なる音響試験管

当社のキットはそれぞれ特定のパラメータと方法に応じて最適化されています。

2マイクロホン伝達関数法:

- 4206型 音響管キット (50 Hz ~ 6.4 kHz)
- 4206-A型 音響管キット (100 Hz ~ 3.2 kHz)

4マイクロホン伝達関数法:

- 4206-T型 透過損失管キット (50 Hz ~ 6.4 kHz)